

## 平成 29 年度第 2 回小牧市生涯学習審議会議事要旨

- 【1】開催日時 平成 30 年 2 月 9 日（金）  
午前 10 時～
- 【2】会場 小牧市役所東庁舎 5 階 大会議室
- 【3】出席委員 10 名  
伊藤会長、前田委員、山岸委員、馬場委員、長谷川委員  
吉田委員、坂廻辺委員、梶田委員、水野委員、日榮委員
- 【4】事務局 12 人  
安藤教育長  
大野教育部長  
高木教育部次長  
岩本生涯学習課兼小牧山課長 伊藤東部市民センター所長  
野口北里市民センター所長 平岡味岡市民センター所長  
村田こまき市民文化財団次長 佐藤社会教育指導員  
浅野小牧山課史跡係兼生涯学習課文化財係長  
社社会教育文化係長 菊山社会教育文化係主査
- 【5】傍聴者 0 人
- 【6】内容

### 1. あいさつ

#### （高木次長）

皆さん、おはようございます。本日はお忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。定刻となりましたので、只今より平成 29 年度第 2 回小牧市生涯学習審議会を開催します。

本日、竹中委員、長江委員より欠席のご連絡をいただいております。また、諸事情により長谷川委員、梶田委員より遅れてみえるとのご連絡をいただいておりますので、始めさせていただきます。

はじめに教育長よりご挨拶を申し上げます。

**(安藤教育長 挨拶)**

おはようございます。本当に寒い日が続いておりますが、皆様にはご出席いただきまして誠にありがとうございます。この度の審議会でございますが、今年度2回目ということで、今年度のまとめとして開催させていただこうと思います。

議題につきましては、「平成29年度小牧市教育振興基本計画・基本方針の点検評価」、そして意見交換として「地域3あい事業について」を委員の皆様にご意見をお聞かせ願いたいと思います。

議題の小牧市教育振興基本計画は、平成29年3月に新たに策定したものです。これに基づきまして、37の施策について各担当課が1年間取り組んでまいりました。

今日は施策に基づく点検評価について、皆様のご意見を伺いたいと思っております。また、意見交換の地域3あい事業については、平成17年度から各地区の会館を拠点に、地区の世代を越えた生涯学習の推進を図ることを目的として実施している補助金事業でございます。時代とともに地域の実情・課題は変化しており、また小牧市として推し進めている小学校区単位による地域協議会との重複も問題となっているため、昨年度実施したアンケート結果の報告とともに、今後の地域3あい事業の方向性について、どのように見直しをすれば良いのか、皆様のご意見をいただきたいと思っております。

以上2点について、皆様の闊達な意見交換がなされることをお願い申し上げて、挨拶の言葉に変えさせていただきたいと思っております。

本日はよろしくお願いいたします。

**(高木次長)**

つづきまして、伊藤会長からご挨拶をいただきたいと思っております。

**(伊藤会長)**

おはようございます。今回は生涯学習の一年間のまとめということでございますので、点検評価に向けて各先生方のご意見を頂戴したいと思います。よろしくお願いいたします。

**(高木次長)**

ありがとうございました。これより議事に入らせていただきますが、伊藤会長に進行をお願いしたいと思います。伊藤会長よろしく申し上げます。

## 2. 議 事

### 平成29年度小牧市教育振興基本計画・基本方針の点検評価について

#### (伊藤会長)

それでは議事に入ります。平成29年度小牧市教育振興基本計画・基本方針の点検評価について議事とします。点検評価につきましては、基本目標4から8までございますので、まず基本目標4及び5をひと括りとして事務局より説明をお願いします。

#### (岩本生涯学習課長が小牧市教育振興基本計画・基本方針の点検評価の基本目標4及び5について説明)

#### (伊藤会長)

事務局からの説明は終わりました。これよりご意見を頂きたいと思えます。基本目標4及び5の施策番号毎について、ご意見を伺うこととします。施策17（「家庭教育のつどい」の開催）について、ご意見のある委員の方はございませんか。

#### (水野委員)

29年度はJC（一般社団法人小牧青年会議所）との共催ですが、30年度は教育委員会単独で開催となっております。何か経緯はございますか。また、29年度はゴルゴ松本氏を講師に招いております。外部の講師というのはコストがかかります。ジャストアイデアになります。本市出身の有名人に講師になっていただくのも一つの考え方ではないでしょうか。

#### (岩本生涯学習課長)

29年度はJC（一般社団法人小牧青年会議所）との共催で行いました。例年は、小牧市教育委員会生涯学習課単独で行っております。29年度当初は、生涯学習課単独で実施する予定でしたが、JCも色々な事業を行われる中で、家庭教育や子育てに関する事業を行いたいとの考えから、生涯学習課に相談があり、29年度は共催で行いました。共催でありますので費用は折半となっております。参考と致しまして28年度は木村まさ子さん、27年度は辻井いつ子さんに家庭教育に関する講演を行っていただきました。

本市出身の有名人を外部講師にというご意見につきまして、今後の参考とさせていただきます。

#### (伊藤会長)

課題にある周知方法についてですが、今回はどのような方法をとられました

か。

**(岩本生涯学習課長)**

周知方法についてですが、行政の手段であります広報紙面の掲載やホームページ、SNS等での発信、マスコミ等への情報提供を行いました。ただし、マスコミに関しては告知されていたかは、手元に資料がないため申し訳ありませんがわかりません。今年度はJCと共催でしたので、JCからも各関係の方々に周知していただいております。教育委員会単独で行うよりも広範囲に周知されたのではないかと考えております。

例年ですと、定員300名のまなび創造館あさひホールで行っているところ、今年度ゴルゴ松本氏の講演については、市民会館ホールで開催し、1300名の方にご来場いただきました。

**(伊藤会長)**

次回に向けた具体的な周知方法が、他に予定や計画はございますか。

**(岩本生涯学習課長)**

できる限りの周知方法を試しておりますが、他に方法がございましたらご提案をいただきたいと思います。

**(前田委員)**

意見ではありませんが、ゴルゴ松本さんの命の授業に参加させていただきました。広報やホームページ、SNSの影響なのか物凄い盛況でした。

家庭と地域と学校のつながりということで、教員も見かけました。また、お子さん連れのお母さん方がたくさんお見えになられておりました。ゴルゴ松本さんは、色々な施設を回られているということテレビの報道等で周知されていきましたので、どんな話が聴けるのかという期待があったと思います。恐らく話したいことがたくさんあったのか、時間的な問題で早口になってしまわれたのが残念でしたが、伝えたいことが盛りだくさんで、お子さんに焦点をあてたい、親にもあてたいというのが感じ取れました。

私自身教員として出かけていき、ゴルゴ松本さんが話された、漢字を基にした言葉の一部を学校で伝えました。子ども達の前向きさを出すような部分を使わせていただきました。

場合によって規模であったり、ホールの場所であったり臨機応変に変えられ、それにあった計画をしていただけると良いと、講演に参加してみたいと思いました。

**(水野委員)**

今回は、学校にチラシを配っていましたか。

**(岩本生涯学習課長)**

学校にお配りさせていただき、PTAの方も多数ご参加いただきました。

**(伊藤会長)**

施策21(市民講座の実施)について、ご意見のある委員の方はございませんか。

**(山岸委員)**

私は実際に味岡市民センターで短期講座を実施させていただきました。そのような講座の制度があるのは知っていましたが、応募は所長からの声掛けがきっかけとなりました。私達から積極的に応募できないので、声を掛けていただけると良いと思います。

**(伊藤会長)**

長寿化が急激に進んでいる状況の中で、定年によって豊かな知識や才能をお持ちの多くの方々の発掘がうまくいっていない。難しい課題だと思っておりますが、何か案はございませんでしょうか。今日でなくても良いので、是非ご提案いただければと思います。

**(馬場委員)**

こまなびフェスティバルの市民企画講座紹介の掲示で拝見したのですが、小牧山の自然ですとかアロマセラピーとか、ある1日だけの日付を紹介した箇所がございました。1日だけの短期講座というものはございますでしょうか。もう一点、開催場所が全部室内となっておりますが、屋外の開催というのは視野に入れておりますでしょうか。

**(岩本生涯学習課長)**

市民企画講座について申し上げますと、市民の方が自身の知識や技術を活かして企画運営する講師として応募していただき、講座を行っていただくものです。例えば公民館の室内で学ぶ講座ばかりでなく、ご指摘のとおり、屋外での活動知識や経験をお持ちの方がいれば、提案をしていただければ可能だと思います。また、市民企画講座の回数につきましては、何回程度と制限を設けさせていただいております。短期講座については、馬場委員の意見を今後の運営や企画に役立てていきたいと思っております。

**(坂廻辺委員)**

未就学児がいる方が、講座に参加することが困難な状況とありますが、例え

ば講演会などで託児があります、と目にする事があります。ここでいう講座では託児を行っていないのでしょうか。

**（岩本生涯学習課長）**

東部市民センターで1講座ではありますが、託児つき講座を開催しております。また、まなび創造館では託児サークルがございますので、詳細は把握しておりませんが、託児つき講座を行っています。

**（坂廻辺委員）**

現在育児休暇で家庭にいらして、その間に学びたいという意欲的な方がたくさんいると思います。そのための託児ボランティアを育成することも一つの課題だと感じます。託児つき講座が増えてくると参加者が増えてくると思います。

**（伊藤会長）**

東部市民センターでは、どのような手法でやりましたか。

**（伊藤東部市民センター所長）**

育児中の方が、興味を持たれると思われる講座について、託児つきで募集をかけましたが、託児を希望された方はいませんでした。今後も前期、後期で1講座ずつ取入れていく予定です。

託児の方法としましては、託児ボランティア団体に、お願いして実施しています。

**（伊藤会長）**

託児ボランティアの年齢層はどうでしょうか。

**（伊藤東部市民センター所長）**

まなび創造館で活動している市内で唯一の託児ボランティア団体ですが、年齢層まで把握はしておりません。保育士資格をお持ちの方がいらっしゃいます。

**（伊藤会長）**

例えば、北里、東部、味岡といった市内全地区で対応されるのでしょうか。

**（伊藤東部市民センター所長）**

確証はありませんが、依頼し調整した結果、可能であれば対応されると思います。

**（伊藤会長）**

講座を受講したい方も、託児ボランティアというニーズがありますので、市に対して託児ボランティアを派遣してもらうように働きかけても良いと思います。特に最近、育児休暇が長期化して講座を受講したい方も多いと思うので、是非活用していただきたいと思います。

**（伊藤会長）**

施策22（団体等による自主展示・発表活動への支援）について、ご意見のある委員の方はございませんか。

**（吉田委員）**

北里市民センターでロビーコンサートが行われているのを見させていただきました。その時は、とても盛況でした。ロビーコンサートが各市民センターで行われていると知り、感動しました。

**（水野委員）**

達成状況の中で、味岡市民センターの稼働率は非常に高いと思いますが、どのような取組みをなされているか、今後の課題の参考となるとと思いますので教えて下さい。

**（平岡味岡市民センター所長）**

以前より、ロビーコンサートは活発に行われておりましたが、更に活動を増やすため、各団体に声掛けをしました。また、ロビーにじゅうたんを敷き今までに行われていないダンスなど、新たな団体に声掛けをし、一層活発になるよう働きかけております。

**（伊藤会長）**

施策24（SNSを活用した生涯学習情報の提供）について、ご意見のある委員の方はございませんか。

**（日榮委員）**

高齢者の方々はパソコンなどを使えない人が多いので、SNSだけにこだわるのは良くないと思います。先日、私が属する区が、来年度の区の役員である書記を決めるにあたって、40世帯ほど集まりましたが、パソコンが使える方の確認をしたところ、たった2世帯しかありませんでした。インターネット環境を整えている方が非常に少ないし、スマートホンも持っていない方も多いと思います。周知方法として、チラシや回覧などを学校やPTAの方をお願いしたり、また民生委員さんや区長さん、町内会の自治会長さんをお願いしたり、

声掛けしたりしていただきたいと思います。

チラシも出来るだけ分かり易く、インパクトのあるものにしていただきたい  
と思います。

質問になりますが、桃花台の城山地区は外国籍の方が多く住んでいらっしゃ  
います。その方々に、どういう形で生涯学習活動を周知していますか。

### **(岩本生涯学習課長)**

市では、外国籍の方向けの広報誌を4ヶ国語で発行しております。市政情報  
全般を網羅したものであり、生涯学習情報に特化したものではございませんが、  
生涯学習として行っている講座、講演について、どなたでも参加していただく  
ことができるものとして、その情報を外国語広報誌に掲載しております。

生涯学習課として発行しております、生涯学習情報ガイド「こまなび」につ  
いて、外国語での発行はいたしておりませんので、その点において、確かに課  
題だと感じております。

パソコン等の機器に関する問題について、例えば区の役員になられた後の話  
になりますが、区の関係者を所管する協働推進課で、役員向けのパソコン講座を  
実施しています。また、生涯学習課でも、先日生涯学習の発表の場として、こ  
まなびフェスティバル2018を開催しましたが、その催しに、NPOとして  
パソコンの活動をしている団体に、情報発信の仕方としてフェイスブック講座  
を開いていただきました。各サークルなどが、自分達の情報を発信する、また  
利用するという活動ができるように取組んでいます。

### **(馬場委員)**

東部、北里、味岡の各市民センターでは、SNSを活用する環境はありま  
すか。誰でも利用できますか。

### **(伊藤東部市民センター所長)**

3市民センターで、市民が自由にパソコン検索できる環境はありません。

### **(伊藤会長)**

ペーパーベースでPRすることが必要であると思いますが、ペーパーレス時  
代での課題でもあります。

### **(山岸委員)**

SNSを使った情報発信について、先日図書館建設のワークショップに参加  
させていただきました。新しい図書館には、多くの方がカフェを楽しみながら  
パソコンで閲覧できるコーナーがあると良いという意見が出ていました。私も  
その意見に賛成で、そういう環境の中で、小牧市の祭りや生涯学習活動を発信



できたら良いと思います。

**(伊藤会長)**

各公民館や各市民センターに自由に使用できるパソコンを設置する計画、又は構想はありますか。

**(岩本生涯学習課長)**

現時点において、市民の方が自由に使えるパソコンは各市民センターにございません。なお、生涯学習課が所管しております、こまなびサロンには、市民が自由に利用できるパソコンを設置しております。また、3市民センターにおきましては、自由に使えるパソコンはございませんが、ご自分で機器を持ち込んでいただければ、登録していただく必要はございますが、Wi-Fi環境を整備しておりますので、自由に情報を取得していただくことが出来ます。

**(伊藤会長)**

続きまして、基本目標7及び8について事務局より説明をお願いします。

**(岩本生涯学習課兼小牧山課長が小牧市教育振興基本計画・基本方針の点検評価の基本目標7及び8について説明)**

**(伊藤会長)**

事務局からの説明は終わりました。これよりご意見を頂きたいと思います。基本目標7及び8の施策番号毎について、ご意見を伺うこととします。施策29（こどもを対象とした鑑賞事業の実施）について、ご意見のある委員の方はございませんか。

**(水野委員)**

こどもを対象とした鑑賞事業の内容について、演劇公演やコンサートとなっていますが、例えばこの中に絵画の鑑賞は考えられていないのでしょうか。また、9頁（施策32（文化財団の活動支援））のところでメナード美術館連携事業がありますが、これと関係しているか教えてください。

**(岩本生涯学習課長)**

市では、有名な絵画のレプリカをいくつか持っており、巡回美術展として各学校を回っています。子ども達に絵を見ていただく機会を提供しています。

メナード美術館との連携事業は、メナード美術館が催す企画展等を広報等でPRさせていただきつつ、広報に割引チケットをつけることで、より多くの市民の方に美術に興味を持っていただけるような取組みであります。

**(前田委員)**

桃陵中学校に巡回美術展ということで、絵画が来ております。鍵がかかる会議室で保管させていただいており、授業で鑑賞させていただいております。素晴らしい絵に接する機会があって感謝しております。また、1年生がメナード美術館へ毎年行かせていただいております。

**(伊藤会長)**

事業の名前として、こどもを対象とした鑑賞事業というと包括的な概念となってしまう。もし音楽鑑賞事業が中心であるならば、事業名としては、こどもを対象とした音楽鑑賞事業の実施とした方が、正確な位置づけができるのではないのでしょうか。感じた事を申し上げただけで、回答を求めているわけではありません。検討してください。

施策3 1 (中部フィルハーモニー交響楽団の活動支援) について、ご意見のある委員の方はございませんか。

**(意見なし)**

施策3 2 (文化財団の活動支援) について、ご意見のある委員の方はございませんか。

**(坂廻辺委員)**

先日、文化財団設立事業の一として、立川志の輔師匠の講演を見てきました。とても盛況でした。当然駐車場も一杯でしたが、その際の駐車場案内スタッフの動きが素晴らしかったです。一台でも多く止めようと努力し、工夫されていることに感心しました。また、休憩時間のトイレ案内もきめ細やかで、休憩時間内でスムーズにお手洗いを済ませることができたと思います。積極的に取組まれている思いが伝わりました。

**(吉田委員)**

アートフレンドにて携わっておりますが、お手洗いの案内について教えていただきました。皆さんがスムーズに、短時間の間に済ませることができたと思います。

**(伊藤会長)**

文化財団の役割は、今後増えていくように思います。

施策35（主郭地区整備基本計画の推進）について、ご意見のある委員の方はございませんか。

**（意見なし）**

施策35（資料の展示や体験・講座による啓発）について、ご意見のある委員の方はございませんか。

**（意見なし）**

### **3. 意見交換**

#### **地域3あい事業について**

**（伊藤会長）**

それでは、次に地域3あい事業について、事務局から説明をお願いいたします。

**（岩本生涯学習課長より地域3あい事業アンケート結果と今後の考え方について説明）**

**（伊藤会長）**

地域3あい事業について、ご意見のある委員の方はございませんか。

**（吉田委員）**

自分の北里地区では地域3あい事業は行っているが、地域協議会は立ち上がっていません。いくつか立ち上がっている地域協議会では、どのような事業が展開されているのか教えてください。

**（岩本生涯学習課長）**

地域協議会は、現在陶小学校、篠岡小学校、小牧原小学校、大城小学校の4小学校区で実施されております。具体的に申しますと、地域ビジョンの策定、住民交流夏祭り、お月見祭り、校区での防災訓練などが行われています。

**（吉田委員）**

小牧市を東西南北で分けると、北の方が多く地域協議会が立ち上がっているのが見て取れます。例えば、夏祭り一つ取ってみたとき、地域協議会ではどのような活動をされているのか、お聞きになられていますか。

**（岩本生涯学習課長）**

住民交流夏祭りを行うにあたっては、まず地域協議会で企画検討し催し物を決めるわけですが、具体的に陶小学校区で行われているものとして、お化け屋敷や各種お楽しみコーナーがあります。幅広い年代の方が楽しめる夏祭りを実施していると聞いております。参加者も毎年増加しており、学校区や地域協議会のニーズがあると捉えております。

**（伊藤会長）**

地域協議会の下に各区があり、地域協議会が立ち上がっていない地域があるという現状の中で、行事が重複しているということについて話し合うのは、論拠が希薄に感じます。

全市的に地域協議会があって、その下に各区があるという構成になっていれば、行事が重複しているの見直す必要があるというのであれば理解できます。片や地域協議会が立ち上がっていない地域がある状況の中で、活動の内容を整理するというのは論拠が希薄です。

**（岩本生涯学習課長）**

地域協議会は、小学校区単位となります。地域3あい事業は、地区単位となっており、まず単位が違うということを申し上げます。小学校区若しくは地区がそれぞれの事業によって選択すべきものであることから、同じ事業を行ってはいけないというものではありません。例えば、防災訓練でいいますと小学校区で防災訓練を行えば、効率的であるし、実際に即した訓練が出来ると考えられます。だからといって地区単位で必要が無いというわけではなく、各会館を拠点として隣近所で協力し支えあうことは大切です。

ここで課題としているのは、地域3あい事業がふれあい活動に比重が偏っているということです。それぞれのふれあい活動に対して、協働推進課と生涯学習課で両方が補助金を出している中で、線引きを考える必要があるのではないかというものです。

**（伊藤会長）**

小学校区の活動内容と地区の活動内容が重複しているから見直しを図るという説明ではなくて、むしろふれあい活動にウエイトがあまりにも置かれすぎており、一部地域においては重複しているから、学びあいに洗練させていくという趣旨であるならば、理解できなくはありません。論拠というものが実情にそぐわないのではないかと感じました。

### **(坂廻辺委員)**

私も地域3あい事業に関わっておりますが、私の地区では自治会の役員は1年で交代するのに対して、3あい事業の運営委員はずっと続けて見える方が多いですが、自治会と3あい事業はバランスよく活動できています。確かに役員の負担も多くなり、70代80代の高齢者の方も実際多いですから、頭が下がる思いではありますが、ふれあい部分を少なくして事業を見直すということになりますと、現在活発に行われている交流事業が少なくなってしまうと思います。例えば、餅つきですと三世代交流で、いわゆるふれあい活動ですが、普段言葉を交わさない方々が言葉を交わす風景がとても良いと感じております。

私の地域でも今春から地域協議会が立ち上がり、2月に総会が行われるという案内をいただきましたが、地域協議会という範囲が広く、先ほどお話しに出た防災は、地区で行うものと違い学校区で行うものでは、なかなか体験できないことが体験できるという点で良いと思いますが、私の中では地域協議会と地域3あい事業は一緒にならないと考えます。

資料2の補助額について、20万円で実施している地区が圧倒的に多く、これを一律10万円にするのは疑問に思います。10万円で上手にやってみえる区については、それで良いと思いますし、今まで20万円でやってきた区も継続できたら良いと思いました。

### **(水野委員)**

防災訓練の話ですが、消防本部の方から自主防災会活動支援補助金がでます。これは平成27年度に、区内の住民に一定係数をかけて算出された額を補助しますというもので、私の記憶ですと28年度は75%、29年度は50%、次は25%というように減じていくというものです。また、小学校区単位で行えば補助しますという流れのもので、私はインセンティブであると思っています。

防災訓練やサロンといった活動は、小学校区地域協議会の事業と類似していると資料にはあります。サロンも社会福祉協議会で補助金が出ており、地域3あい事業の防災訓練実績との兼ね合いで、そういうものが重なっているというのであれば、監査委員も言っておられるように、補助金の使い方をチェックしていく必要があると思いました。

### **(日榮委員)**

私の区でも地域3あい事業を行っており、私は委員長を務めております。また大城小学校区で地域協議会も立ち上がっております。

今朝、地域3あい事業の報告書を提出した折に、地域協議会が主催として行っている防災訓練と音楽コンサートがありまして、これは来年度地域3あい事業の対象としないてくださいと言われました。地域協議会は別の補助金で行っているのです、地域3あい事業に入れないくださいというものでした。来年度

は、皆様にご理解いただくように内容の分かるお手紙を送付すると言われました。

地域3あい事業の補助対象というのは、制約が多いと思います。例えば、子ども達が参加した会とかに、飲料は良いがお菓子を渡すのは絶対駄目で、区の補助金から出しています。

年間20万円の補助金をいただいておりますが、10回以上の活動は大変でした。5回行うのは割とスムーズにできるものですが、10回は非常に難しいと感じています。結局のところ補助金を使わず、市へ返金することになりました。もう少し考えていただけたらと思います。

例えば、社会見学のバス借用とかは、地域協議会で考えると人数的に無理です。地域3あい事業の各地区で行った方がスムーズにいきます。地域協議会と地域3あい事業で向き不向きがありますので、生涯学習課で示していただきたい。また、問題としてバスの借用が朝9時から午後4時30分までしか使えず、申込も殺到し、思うように使えないので、自由に使えたらと思います。

生涯学習課とは関係ありませんが、それぞれの区で会館がありますが、私の区では7つの区が1つの会館を使用しています。何かやりたくても取り合いになってしまいます。会館も部屋がいくつもあるわけではないので使いにくいし、老朽化が進んでいる。所管課に申し上げても、区の方で対処して欲しいと言われるので、考えて欲しいです。

### **(伊藤会長)**

生涯学習推進計画の中に位置づけられている、地域3あい事業の当初理念というのは、ふれあいのところからスタートしており、積み重ねてダイナミックに関係性を深め、小牧の生涯学習を活発にしていくという構想であったはずで、そういう意味でいくと、入口であるふれあいが希薄になってしまい、当初の理念から掛け離れていってしまうので危惧しております。節約していきましようという論理だけでは、計画は上手くいかないと思います。決して無駄使いを容認しているわけではなく、重複が有る、無駄があるので気をつけましようという意見交換であれば納得いくものであるが、ただタイトにやっていますという方向性では難しいと思います。

### **(吉田委員)**

補助額の見直しをはかるとありますが、10事業を行うとなると毎月事業を展開しないとイケなくて、結構負担になる。金額はともかく、回数を10回以上と5回以上の二本立てではなく、5回以上として一本化していただけるとありがたいです。これは、私個人の案でございます。

**(伊藤会長)**

本日、結論を出さなければなりませんか。

**(岩本生涯学習課長)**

本日この場では、委員の皆様のお考えをいただきたく、結論を求めるものではありません。いただいたご意見を基に今後の事業の参考とさせていただきます。

**(伊藤会長)**

無駄を省いていかなければならない、効率的、合理的にしていかなければならないという時代背景の中で、考えていかなければいけないテーマであると思います。

**(岩本生涯学習課長)**

変更案②複数区合同での活動のルールとして、記載させていただきましたが、地域3あい事業の区単位活動に対して補助を行うとしておりますが、隣同士の区で連携して実施するという考え方において、ご意見いただければと思います。

**(長谷川委員)**

西町区では、夏の盆踊りはいつも寺浦区と合同でやっています。役員も毎年交代で行っており、可能だと思います。

**(坂廻辺委員)**

私も連携は可能だと思います。老人会などを対象とした出前講座などを行った場合、老人会は違う区とまたがっていることがありますので、その点を考えても可能だと思います。

**(伊藤会長)**

区としては、そういう認識をしているという結論でよろしいでしょうか。

**(伊藤会長)**

意見もないようですので、これで議事及び意見交換を終了いたします。  
事務局へお返しします。

#### **4. その他連絡事項**

**(高木次長)**

会長、ありがとうございました。次第4、その他連絡事項に移ります。事務局より説明をします。

**（岩本生涯学習課長よりその他連絡事項「生涯学習事業のこまき市民文化財団への移行について・公民館の使用料の見直しについて・有限会社あけぼのの廃業について」について説明）**

**（高木次長）**

以上で、ご審議いただきます内容につきましては全て終了しましたが、全体を通してご質問のある方はございますでしょうか。

**（意見なし）**

本日議題と致しまして、審議会委員の意見をいただきました。今後は意見を取りまとめていきます。意見のあったもの無かったものとありますが、点検評価シートを作成する上で、伊藤会長と相談をさせていただきながら、作成していきたいと思っておりますので、ご了承願いたいと思っております。また、何かございましたら事務局までご連絡いただけたらと思っております。それでは、これをもちまして平成29年度第2回小牧市生涯学習審議会を終了とさせていただきます。長時間にわたりありがとうございました。